

## 教員紹介

氏名	高橋 眞	担当科目	中小企業法
略 歴			
出身地	岐阜県		
出身大学	1978年 京都大学法学部卒業 1983年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学		
取得学位	博士（法学）		
職 歴	1983年 香川大学法学部 助手 1985年 香川大学法学部 助教授 1988年 京都大学教養部（のち総合人間学部） 助教授 1998年 大阪市立大学法学部 教授 2020年 大阪市立大学法学部 退職		
在外研究歴			
社会貢献等	2001年～2008年 日本私法学会 理事 2009年～2013年6月 比較法学会 理事		
主要研究業績等			
主 著 等	著書 ・『安全配慮義務の研究』（成文堂、1992年） ・『損害概念論序説』（有斐閣、2005年） ・『抵当法改正と担保の法理』（成文堂、2008年） ・『担保物権法〔第2版〕』（成文堂、2010年） ・『史料債権総則』（共編著、成文堂、2010年） ・『続・安全配慮義務の研究』（成文堂、2013年） ・『入門 債権総論』（成文堂、2013年） ・『判例分析による民法解釈入門』（成文堂 2018年） ・『民事判例の観察と分析』（成文堂 2019年） ・『安全配慮義務の構造と展開』（成文堂 2024年）		

	<p>主論文</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「自然災害と使用者の安全配慮義務——七十七銀行事件の遺したもの——」(大阪市立大学法学雑誌 62 ( 3.4 ) (2016 年))</li><li>・「資本主義と金銭債権—W・シュトレーク『時間かせぎの資本主義』によせて—」(立命館法学 ( 369=370 ) (2017 年))</li><li>・「安全配慮義務と不法行為——その構造について——」(大阪市立大学法学雑誌 65 ( 1.2 ) (2019 年))</li><li>・「安全配慮義務の組織性・科学性・目的性——大川小学校津波事件控訴審判決について——」(大阪市立大学法学雑誌 65 (3.4) (2019 年))</li><li>・「組織的な活動における「行為」「過失」の構造について——大川小学校津波被災事件に関連して——」(大阪市立大学法学雑誌 69 (2) (2022 年))</li><li>・「国賠法 1 条と公務員個人の責任」法学雑誌 72 卷 2 号 (2025 年)</li></ul>
--	---